【保存版】
No. 46
2020年（令和2年）
9月15日発行

# 熊　地　区
# 防災のお知らせ

熊地区自主防災会
事務局
TEL090-1982-1958

## 『災害は忘れたころにやってくる』

### ※熊地区の災害・防災の歴史

1899年　明治32年　境川の堤防決壊

1911年　明治44年　境川・逢妻川の堤防決壊

1912年　大正元年　末浜新田付近が破堤
熊青年会が3年かけて大正新田を造成

1915年　大正4年　消防手41名で公設熊地区火消組を編成

1926年　大正15年　熊公会堂の南に火の見やぐらが建つ

1939年　昭和14年　消防団令により刈谷町消防団「第4分団」となる

1944年　昭和19年　12月7日13時36分「東南海地震」により　死者不明者1223人

1945年　昭和20年　1月13日3時38分　「三河地震」三河湾を震源　ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ6.8
旧幡豆郡、碧海郡、額田郡で死者2306名

1953年　昭和28年　9月25-26日　台風13号襲来　　農作物が被害をこうむる

1959年　昭和34年　9月26日　台風15号（伊勢湾台風）大被害をこうむる

1978年　昭和53年　熊農業用排水機場が逢妻町に完成

2000年　平成12年　9月11日　東海豪雨　弁天川の排水施設も被害

2014年　平成26年　一時避難場所　「19か所」選定

2016年　平成28年　㈱豊田自動織機グラウンドにﾏﾝﾎｰﾙﾄｲﾚ「25基」設置される

2017年　平成29年　「火消し君」が設置される　（現在熊地区に7基設置済）

2018年　平成30年　11月26日（日）第1回　3町合同避難訓練実施

2018年　平成30年　市民館東側に防災倉庫設置

2019年　令和元年　「消火器」各町14か所に設置　（2020年8ヶ所増設予定）

**伊勢湾台風の被害**　『愛知県災害誌』（愛知県1971）より算出

| 自治体（当時） | 死者・行方不明者 | 全壊家屋 | 流失家屋 | 床上浸水 |
|---|---|---|---|---|
| 愛知県全体 | 3,260人 | 23,334戸 | 3,194戸 | 58,560戸 |
| 刈谷市 | 14人 | 209戸 | 6戸 | 192戸 |
| 安城市+桜井町 | 7人 | 346戸 | – | – |
| 高浜町 | 4人 | 196戸 | 37戸 | 294戸 |
| 知立町 | 6人 | 158戸 | – | – |
| 碧南市 | 12人 | 474戸 | 56戸 | 1,216戸 |
| 西尾市+幡豆郡 | 35人 | 1,911戸 | 38戸 | 797戸 |

※この地域の災害では、三河地震、伊勢湾台風などの大きな災害が思い出されます。
しかし　これらの災害から、60年が過ぎ「災害の怖さ、恐ろしさ」を「伝え・語り継ぐ」ことも大切です。

*今　地区民全員が『自分・家族の命ちを守る』ためにやるべきことは*
*災害を知り、それに対する『備え』をする事です。*
*皆さんのご意見、ご要望を自主防災会にお寄せ下さい。*

熊自主防災会　事務局